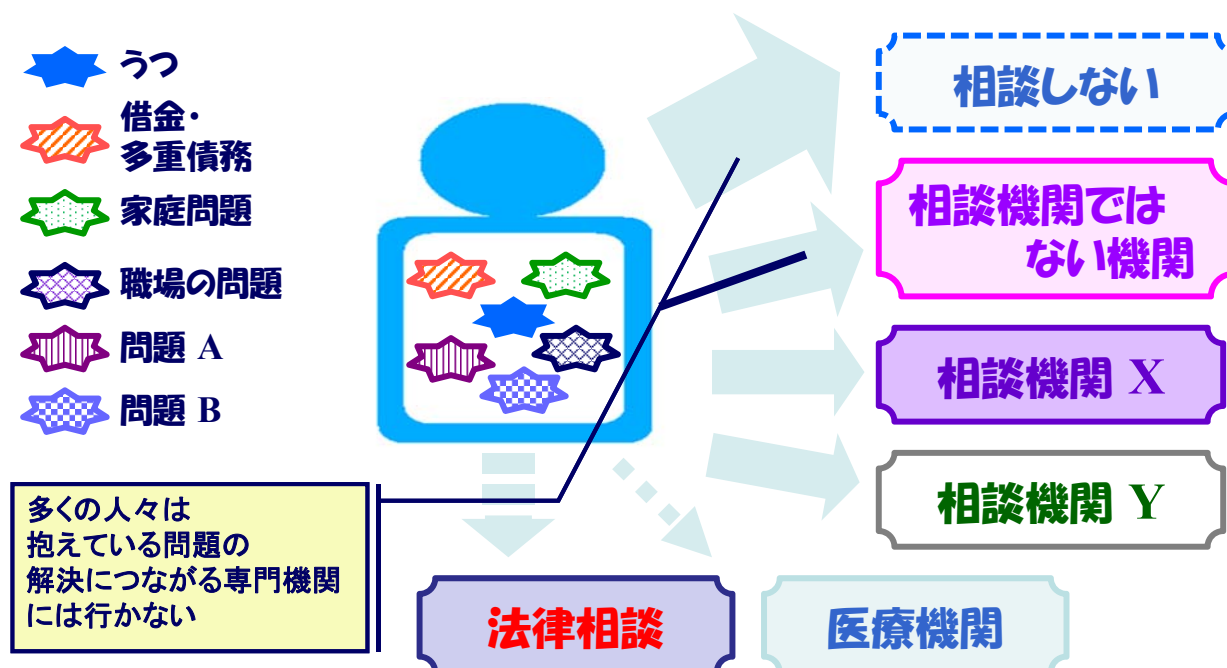
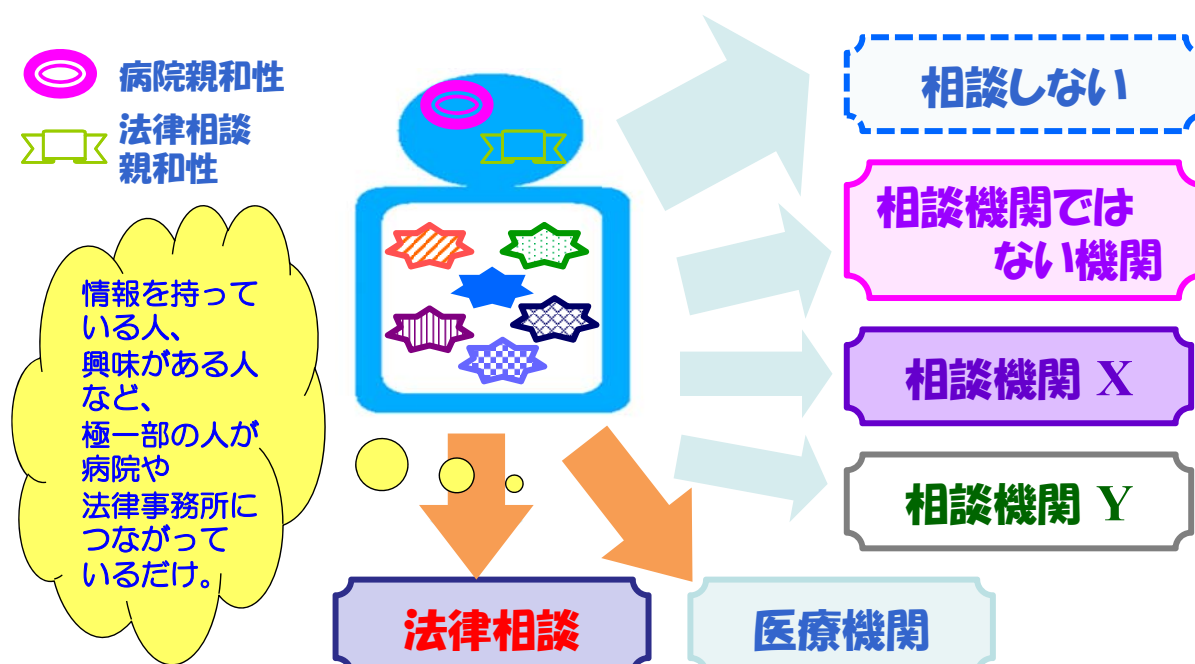


自殺ハイリスク者の行動パターンと 支援機関との関係



自殺ハイリスク者の行動パターンと 支援機関との関係



自殺ハイリスク者を専門機関へ つなぐための体制



“誰でも（どこでも）ゲートキーパー作戦”

- 各種専門相談窓口において、
自機関の専門外の問題への初期対応が出来る体制
- 地域の様々な組織（企業、学校、自治会、町内会など）
や一般市民に、ゲートキーパーの役割の一部を担っ
てもらえる体制

- 多重債務者への初期対応ができる保健師
- メンタルヘルス対応ができる法律事務所
- 自殺のハイリスク者に気づき、その人を法律相談や医療に上手につないでくれる民生委員や自治会長

等々

政府インターネットテレビ『徳光&木佐の知りたいニッポン！』で放映中。

<http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg5882.html>

『長崎県自殺総合対策 相談対応の手引き集』(全7巻)

- (a) 相談窓口用手引き〈全2巻〉
 - (①『借金・経済問題への対応』、②『メンタル問題への対応』)
- (b) 自死遺族相談支援用手引き〈全1巻〉
 - (③『自死遺族への相談支援の方法』)
- (c) 保健・医療・福祉・介護従事者用手引き〈全2巻〉
 - (④『身体的健康問題と自殺予防』、⑤『高齢者の自殺予防』)
- (d) 事業所用手引き〈全1巻〉
 - (⑥『事業主の皆さまへ』)
- (e) 自殺未遂者支援用手引き〈全1巻〉
 - (⑦『自殺未遂者への支援の方法』)

☆ http://www.pref.nagasaki.jp/na_shien/manual/index.php

からダウンロード可能。

『長崎県自殺総合対策 相談対応の手引き集』(全7巻)



- 非専門家や一般市民が最低限知っておくべき情報の掲載
- 専門相談機関への紹介のタイミングや方法について具体的に掲載
- 同手引きの使用に関するインストラクターを50名程度養成し、そのインストラクターを各地、各機関に派遣し研修会を開くことで、手引きが使える人（ゲートキーパーの役割を果たせる人）を数千～万人規模まで増やす。

(※) 平成23年度～、インストラクター専任職員（市町保健師OG）を長崎こども・女性・障害者支援センターに配置

長崎県におけるゲートキーパー養成の変遷

【平成19年度後半～】

GK養成計画開始 **保健師GK** 養成 → 誰でもGK作戦へ方針転換
(手引き集の制作作業)

【平成20年度後半～】

手引き集使用のイラストレーター養成開始（対象：県立保健所保健師）

- ◆ **民生委員GK** 養成開始
- ◆ **司法書士GK** **弁護士GK** への働きかけ開始

【平成21～22年度】

保健所を中心に地域の実状に合わせたGK養成
精保センターと本庁でのGK養成

- ◆ **行政職員GK** ◆ **かかりつけ医GK** ◆ **事業主GK**
- ◆ **商工会職員GK**

気づき
キャンペーン

・・・難しい印象のため非専門職の不参加
遺族にとってはつらいキャンペーン

【平成23年度】

精保センターに専任イラストレーターの配置 保健所でのGK養成

- ◆ **包括支援センター職員GK**
- ◆ **スナックママさんGK**

【平成24年度】

- ◆ **大学生GK**

リスクに
気づいて
つなぐ
人材づくり

正しい情報を
さりげなく
伝える
人材づくり

“ゲートキーパー”の役割とは

① 早期対応の中心的役割を果たす人材

- ・ 自殺のハイリスク者に対して、相談対応の中で、適切な情報を提供し、その人を確実に支援につなげる。
・・・ 医師、保健師、ソーシャルワーカー、
弁護士、司法書士 などの専門家、
行政機関や各種相談機関の職員、
民生委員、児童委員など

② “超” 早期対応の中心的役割を果たす人材

- ・ 今後、自殺のリスクが高まる可能性がある人に対して、
正しい情報、役立つ情報を提供する。
(正しい情報を得ることで、その人が適切な対処行動を選択し、結果として自殺のリスクが減少する。)
・・・ 八百屋さん、魚屋さん、スナックのママさん、
床屋さん、美容師さん、ご近所さん、 などなど